



国民春闘共闘

第24号

2018年3月20日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

3・15全国統一行動 ②

地域から賃上げ・底上げをアピール

2018年国民春闘最大のヤマ場「3・15全国統一行動」では、ストライキなど職場でのたたかいとともに、各地域で集会やデモ、署名宣伝行動など、多様な行動が終日展開され、全国で約24万人が参加し、誰もが8時間働いて暮らせる賃金を！安倍9条改憲・労働法制改悪阻止、賃上げと安定雇用で地域活性化などをアピールしました。

大阪 春闘勝利3・15大阪総行動に1万人以上が参加



大阪春闘共闘委員会と大阪労連は、2018年国民春闘ヤマ場最大のとりくみである3・15全国統一行動に結集して「3・15大阪総行動」として、なんば・淀屋橋の2ヶ所での早朝宣伝を皮切りに流し宣伝カーの運行、ランチタイムデモ(200人)、都構想・住民投票反対の「個人請願行動」(499筆)、春闘勝利総決起集会&デモ行進(800人)、森友疑惑徹底究明・安倍内閣退陣!緊急宣伝行動など、終日の行動を展開しました。

この日は、民間単産のストライキ行動をはじめ、各職場・地域での宣伝・集会・要請や懇談活動・職場集会なども含め、府下全体でのべ1万人以上が行動しました。

長崎 「もう許せない! 国民と国会を愚ろうする安倍内閣は退陣せよ! 3・15緊急集会」

3月15日は全国で「山場」に位置づけられ、「三大要求」を掲げ、全組合員参加型の統一行動が終日行動として多面的に展開されました。急遽、「国民と国会を愚ろうする安倍内閣は許せない!」との声を長崎からも上げよう!ということになり、ながさき市民連合の主催で、「もう許せない! 国民と国会を愚ろうする安倍内閣は退陣せよ! 3・15緊急集会ながさき」が開催され、県春闘共闘もこれに結集しました。、会場となった鉄橋(長崎市・浜町



アーケード入口) に集まった 270 人が、安倍政権の退陣を強く迫りました。リレートークの中で県春闘共闘会議鳥巢事務局長が、安倍「働き方改革」の撤回について訴えました。

愛知 全県労働者決起集会

愛労連や愛知国民春闘共闘委員会が主催する「18 国民春闘勝利！全県労働者決起集会」が若宮広場で開催されました。

樽松議長の主催者あいさつ後、来賓として名古屋ふれあいユニオンの浅野委員長が「労働者や市民がヒドイ目にあっている状況を、これからも愛労連の皆さんと一緒に変えていきたい」とあいさつ。知崎事務局長から愛知の民間職場での回答状況やストライキ等の情勢報告がおこなわれました。

決意表明では、建交労の学童保育支部、検教労連名古屋支部、医労連南医療生協、全厚生中部闘争団からたたかひの報告があり、最後に「大幅賃上げ、労働法制改悪反対、改憲阻止・戦争法廃止の課題を軸に全力で闘い抜く 18 春闘にしよう」とした集会決議文を全員で採択。栄交差点までデモ行進しました。



秋田 春闘決起集会

15 日、秋田駅前アゴラ広場で春闘決起集会が開き、50 人が参加しました。集会では冒頭、三浦宣人県労連議長が「低額回答・回答延期などで本日ストや集会で決起した労組が多い。要求実現に向け力を合わせよう。森友学園をめぐる国有地売買に関する不正が正されようとしている。悪政を終わらせるよう奮闘しよう」とあいさつ。続いて越後屋事務局長の闘争報告と行動提起が行われたあと、中通病院労組、全日赤秋田、福祉保育労、JMITU文化シャッター労組、通信労組、建交労、高教組、年金者組合、自治労連の代表が回答状況・闘争報告、今後のたたかひに向けた決意表明を行いました。団結ガンバロウで意気を上げたのち、参加者はデモ行進に出発。デモ中雨が降り出しましたが、最後までシュプレヒコールを上げ、沿道の方々に「大幅賃上げの実現」「労働法制改悪阻止」「憲法改悪反対」などをアピールしました。

京都 多様な行動を展開

18 春闘勝利をめざす統一行動日の 3 月 15 日を中心に多様な行動を展開。通信労組(JMITU 通信本部)は、「大幅賃上げ、非正規労働者の待遇改善」などを求めてストライキに突入。ストライキ集会には支援の仲間を含めて 40 人が参加しました。全国一般京都生協労組・パート労組は、500 人を超える組合員がストライキで決起。京都生協本部前のストライキ集会には支援の仲間を含めて 50 人が参加しました。



京都医労連は、ストライキで決起した民医労の仲間を中心に 100 人が市役所前からパレード。ちんどん屋さんを先頭に「看護師増やせ」「大幅賃上げを」とアピールしました。

福祉保育労は、組合員のトランペットや太鼓を先頭に「キラキラパレード」実施。80 人の仲間が「笑顔で働きたい」「福祉・保育の充実を」と市民に訴えました。

建交労京王新労組

建交労京王新労組は、建交労東京都本部統一要求 36,000 円の賃上げの他、長時間労働、残業競争の危険な評価制度の改善を求め、15 日 24 時間ストに入りました。

京王バスでは、残業時間の多さで評価する仕組みが存在しています。さらに体調不良で残業を断れば減点、休暇を断れば減点と異常な評価制度が存在します。裁判では、本人有責で事故を起こした場合でも 5 点減点なのに対し、従業員が残業を断ると 10 点減点、というバスの利用者の安全よりも経営の効率を優先する実態も明らかになっています。

15 日 10 時からストライキ集会を行い、全労連や建交労をはじめ単産・地域組織や共闘組織の支援も受け、「安全を守れ」と訴えるとともに、長時間労働を推し進める“働き方改革”を断念させよう、安倍政権を打倒しようと思意統一しました。



JMITU 東京東部地協 大手を様子見した回答に抗議のストライキ

JMITU 東京東部地協は錦糸公園（東京・墨田区）で、「3・15 東部金属労働者総決起集会」を開催しました。地協全 11 支部のうち 7 支部が半日ストライキを決行、総決起集会には墨田労連、葛飾労連、足立区労連など地域の仲間や自治労連、全教、JMITU 通信産業本部からも支援に駆けつけ 200 人が参加しました。集会後には、錦糸町駅前を通るデモ行進を行いました。

主催者あいさつに立った芝山東部地協議長は、前日までに 6 支部が有額回答を引き出したことを報告。「まだ要求からかけ離れた回答だ。ストライキに立ち上がり、デモで労働組合・労働者の要求を広くアピールすることがこの集会の目的だ」と総決起集会開催の意義を語りました。



JMITU 東京地本・川口委員長は、「14 日までに、JMITU 全体で 92 支部が回答を引き出し、組合員平

均 6,153 円・2.12%となっている。大手の様子を見た回答が増えている。要求に固執し体制を強化し、追い上げを図っていかう」と呼びかけました。東京春闘共闘、自治労連、全労連、墨田労連などからの連帯あいさつ後、鈴木東京東部地協事務局長が行動提起を行い、3月23日に産別統一交渉、4月には東京地本統一交渉を配置し、一丸となったたかかっていく決意を表明しました。

大幅賃上げ、労働条件改善など18春闘での要求実現をめざす職場でのたたかいとあわせて、「安倍働かせ方改悪」を許さず、日本の平和と国民のいのちをまめるため、安倍政権のもとでの「9条改憲」を阻止し、18春闘勝利をめざす集会決議を採択しました。

東京東部ブロック 18 国民春闘勝利東部地域交流集会を開催

東京東部ブロックは18時30分から台東区民会館で「2018年春闘勝利東部地域交流集会」を開催し、職場・地域から100人の仲間が参加しました。

主催者を代表し墨田労連・山城議長は、大手の春闘回答に対し、「生活改善に見合わない回答内容だ」と述べ、「大幅賃上げとともに賃金底上げをめざし、全国一律最賃制の実現、社会保障の充実、安心して暮らせる地域社会をめざし奮闘を」呼びかけました。

業者を代表して連帯挨拶に立った東京共同行動実行委員会の田中世話人代表は、消費税やタックスヘイブン問題、少子化問題などに触れながら、「個人消費が伸びなければ中小業者・商店はもたない。8時間働けば暮らせる社会にならないと少子化も止まらない」と強く指摘しました。

職場・地域からの決意表明は以下の通り。

……「3月8日には8支部が1時間以上のストライキをつなぐリレーストライキを行い、今日は地協全11支部が結集し総決起集会を行った。」(JMITU 東京地本)、

……「医療労働者の思いは、安全・安心の医療を尽くしたい、低賃金により労働者が定着しない。今日もストライキも含め多くの組合が立ち上がった。医療・介護労働者の賃金に直結する社会保障費の削減は許さない」(東京医労連)、

……「卒園式直近の時期だが、10分会20名がストライキに入った。親御さんからの励ましの声や地域労連からのメッセージに勇気もらった。」(福祉保育労東京地本)、

……「東京管内だけでも1,000人近く人員が不足している中、非正規雇用労働者の賃上げや均等待遇要求に対してゼロ回答だ。3月20日拠点ストライキを配置した。」(郵政ユニオン)、

……「30歳以下の大工は全国で2,000人もいない。人手不足は、重層下請構造による低賃金が原因だ。公契約条例制定運動を進め、地域で賃金相場を引き上げることが重要だ」(東京土建江東支部)、と決意が述べられました。



4月14日に足立区・北千住で最賃・ディーセントワーク地域パレード、7月までに「中小企業支援、最賃引上げ」の東部7区自治体キャラバンを実施していくことを確認しました。

東京 「3・15 安心できる暮らしを実現するデモ」に200人

千代田区春闘共闘、中央区春闘共闘、MIC が主催した「3・15 安心できる暮らしを実現するデモ」には、全体で200人が参加しました。

デモ出発前には主催者を代表して、小林基秀 MIC 議長、松森陽一東京地評事務局長が「公文書改ざんは民主主義を否定する暴挙。絶対に許してはいけない」「春闘に勝利し暮らしを引き上げよう」とあいさつしました。

デモは虎ノ門を出発し、文科省前→財務省前を通して国会へ請願行動。衆議院・参議院ともに、共産党、社民党の国会議員団が請願を受け付けました。



**安倍9条改憲・労働法制改悪NO！
賃上げと安定雇用で地域活性化！**